発行：プロジェクトアドベンチャージャパン　paj@pajapan.com　Phone：03-3406-8804　Fax：03-5467-7018
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-6-12 ベルデ青山6F

チャレンジバイティス　お互いを最大限に尊重する　フルバリュー

プロジェクトアドベンチャー NEWSLETTER

#001

自分の挑戦は自分で決める

PAってなに？ ～教室編～

クラス内の関わりが活発に！

クラスにいるのが楽しい！

目標にむかってそれぞれがよい挑戦ができる。☆

自分たちのクラスのための規範を自分たちで作り、育てる。

よい関係を自分たちの手でつくる。

楽しいアクティビティをつかった関係づくり。

ピーイング®をつかって子どもたちがクラスを育てていく。

新発売 しるらないカード

PAJのHP http://www.pajapan.com

2013.7.25発売

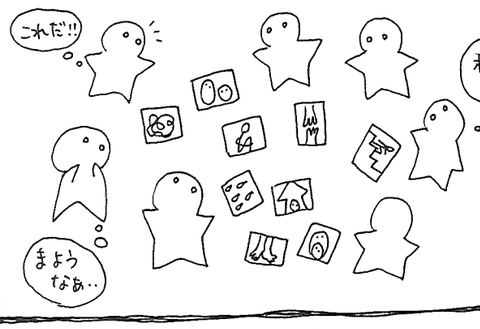
しるらないカードは自分の中をもっとみてみる、自分自身の中の何かを探し出す、まだ言葉になっていない気持ちを表すためのカードです。

PAの活動のふりかえりやクラスの朝の会などで活用できます。

＊カードの使い方はハンドブックにてご紹介しています。

---- セット内容 ----
しるらないカード　100種
しるらないハンドブック　1冊
カード用ケース　1個

＊しるらないカードの他に写真と文字のカード「フルバリューカード」も販売しています。



1セット 3,360円（送料別途）

PA関連書籍のご案内

①「クラスのちからを生かす～教室で実践するプロジェクトアドベンチャー」（みくに出版）
PAJトレーナーによるPA本、第2弾！
教室でPA・ピーイングを使う意味、協同学習とのコラボなど。教室でできるアクティビティ集付。

②「子どもたちが主役！プロジェクトアドベンチャーでつくるとっても楽しいクラス」（学事出版）
PAの考え方、アクティビティを学級運営に取り入れている3人の先生が執筆！すぐに教室で使える内容です。

③「クラス全員がひとつになる学級ゲーム＆アクティビティ100」（ナツメ社）
PAJ協力本です。②の本の著者のひとりが書いています。クラスで使ってもらいたいアクティビティをわかりやすく解説しています。

他にもPA関連書籍が多数あります。詳しくはPAJのHPへ

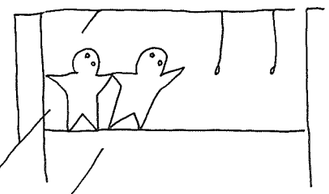
学校教育関係者＆学生対象

PA体験会 in 高尾の森わくわくビレッジ

＊まずは先生がアドベンチャー体験!!

PAは、大自然に行かなくてもアドベンチャーを体験できるようにと作られました。PAのベースとなっているアドベンチャーの要素を体験することで、教育現場での活用の入口にしていただければと思います。

楽しいアクティビティ、皆で協力して達成するローエレメント
6～8mの高さに挑戦するハイエレメントを体験します。



＜開催スケジュール＞
2013年
7/6(土)
8/25(日)
11/17(日)
各回共 9:00～17:00
高尾の森わくわくビレッジ

参加費：一般5,250円，学生4,200円（18才以上）

＊教員を目指す学生さんもぜひ!!

PA研修会「クラスのちからを生かす」

＊その他・指導者講習会を行なっています

「PAを教室に取り入れる」とは具体的に何をすればよいのでしょう。
考え方、アクティビティ、ピーイングと様々な要素があります。
「アドベンチャーを教室に」の実践を目指す研修会です。

詳細・申込受付は2013年12月頃、PAJのHPにて!!

＜開催スケジュール＞
2014年

2/15～16　「クラスで活かすPA」
PAの考え方、ロープスコース体験を通してアドベンチャーを体感したり、ピーイングづくりを学びます。

3/29～30　「クラスでアクティビティを使いこなす ～アイスブレーカー・ウォームアップ編～」
新年度に使えるアクティビティの体験と実践。

5月～6月　「ピーイングを科学する」
作ったけれどうまく活用できないを解消し、ピーイングをクラスづくりの根幹に…。

8月　「クラスでアクティビティを使いこなす ～イニシアティブ×ふりかえり編～」

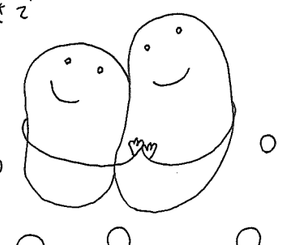
11月　PA＋（プラス）（内容未定）
PAを応用した実践編

東日本大震災支援事業

バンブーリジリエンスについて

2011年の東日本大震災後、日本のために何かできないか…とジム・ショーエル（PAアメリカのトレーナー、カウンセラー）から1通のメールが届きました。そこでジムとPAJは宮城県の教員向けに心のケアをテーマに支援事業として研修会を始めました。（2013年6月の時点で3回の研修会を行ないました。）その中で**バンブーリジリエンス**という言葉が生まれました。竹のようなしなやかさでグループやコミュニティの中で回復する力のことです。「バンブーリジリエンス」は災害だけに特化したものではありません。

PAJは、グループやコミュニティの中でひとりひとりが成長できるプログラムを提案していきます。



（2013年7月）